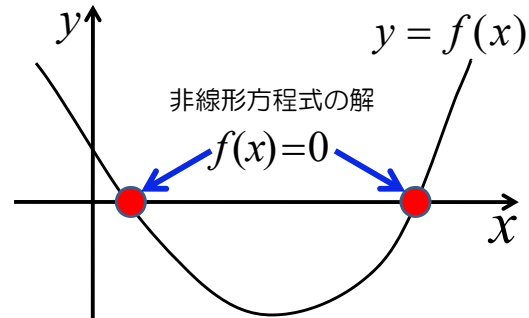


数値計算第10回 非線形方程式の解法

- ・ テーマ： 非線形方程式の解を求める
- ・ 現実の方程式は、解析的には解けないことが多い
- ・ 数値計算で、解を数値的に求める



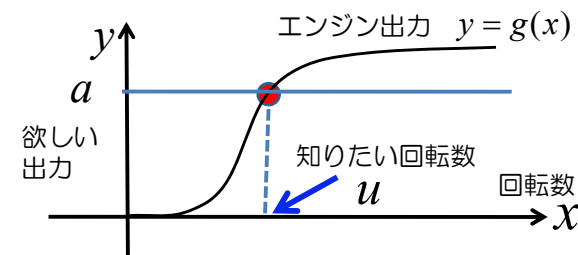
1

非線形方程式は何に使われるか

- ・ システム設計などで、解析的には解けない設計パラメータを求めるときに使う
- ・ 例：必要なエンジン出力を得るための回転数

$$\text{方程式 } f(x) = g(x) - a = 0$$

$$f(x) = 0$$



2

今回の演習

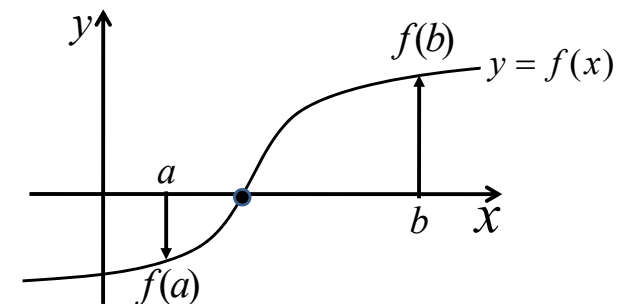
- 演習11-1 2分法
- 演習11-2 ニュートン法(1)平方根計算
- 演習11-3 ニュートン法(2)
- 演習11-4 割線法

3

教科書97 ページ

9.2 2分法 (bisection)

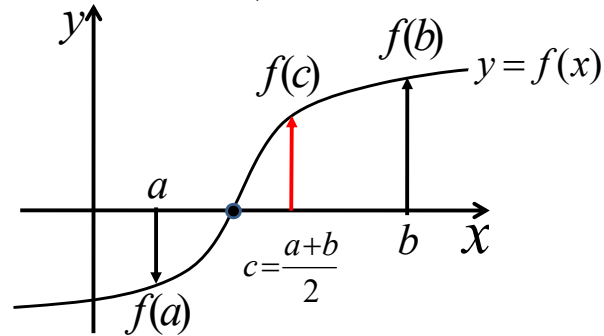
- ・ 原理とアルゴリズム
- ・ 非線形方程式 $f(x) = 0$
- ・ 閉区間 $[a, b]$ で $f(a) \leq 0 \leq f(b)$ または $f(b) \leq 0 \leq f(a)$



4

2分法のアルゴリズム(1)

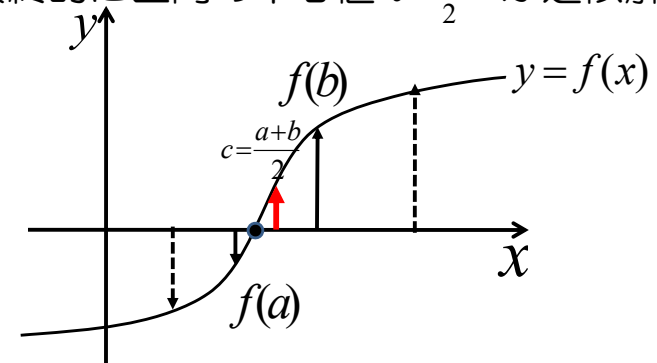
- 点 $c = \frac{a+b}{2}$ で関数値 $f(c)$ を計算
- $f(a) \leq 0 \leq f(c)$ なら, b を c で置き換え
- $f(c) \leq 0 \leq f(b)$ なら, a を c で置き換え



5

2分法のアルゴリズム(2)

- 区間幅 $b-a$ が十分小さくなるまで反復
- 最終的に区間の中心値 $c = \frac{a+b}{2}$ が近似解



6

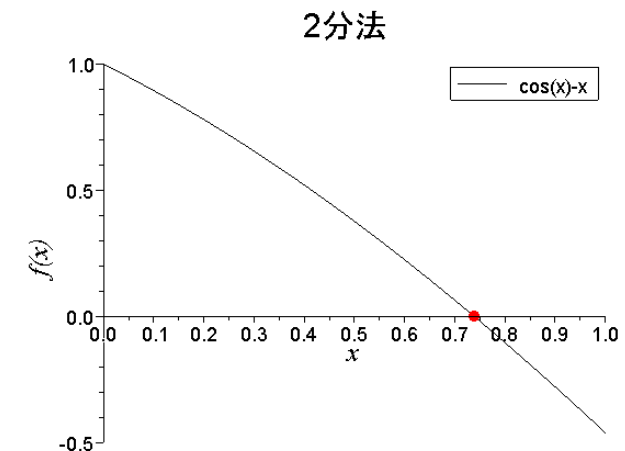
演習11-1 2分法

- 非線形方程式 $f(x)=0$ の $[0, 1]$ 区間の解を2分法 (bisection) を使用して求める
- moodle からダウンロードした2分法のプログラムは **穴あき** なので完成させる

$$f(x) = \cos(x) - x = 0$$

7

演習11-1 グラフ出力例



8

2分法の収束性

- 閉区間列: $[a, b] = [a_0, b_0], [a_1, b_1], \dots [a_k, b_k], \dots$
- 数列: $b_0 - a_0$
 $b_1 - a_1 = (b_0 - a_0)/2$
 \dots
 $b_k - a_k = 2^{-k}(b_0 - a_0)$
- 収束率: $\frac{1}{2} = 2^{-1}$

1回の反復で、1ビットずつ精度向上
収束は早くない、ただし確実

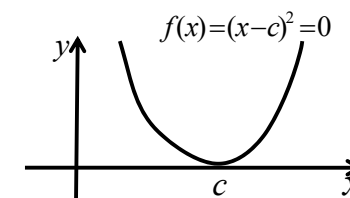
9

2分法の長所と短所

- 長所:
 - 確実に収束する方法
 - 収束条件は $[a, b]$ に対し $f(a) \cdot f(b) < 0$
- 短所:
 - 1次収束であり収束が遅い
 - 重解の場合は収束しない

$$f(c) = (x-c)^2 = 0$$

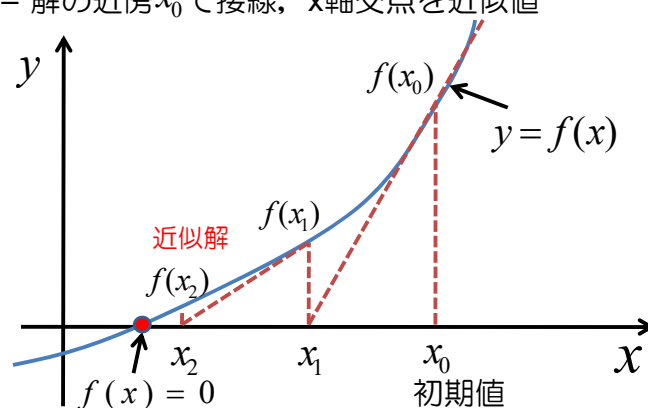
$$f'(c) = 2(x-c) = 0$$



10

9.3 ニュートン法 (newton)

- ニュートン法のアルゴリズム
 - 非線形方程式 $f(x) = 0$
 - 解の近傍 x_0 で接線, x軸交点を近似値



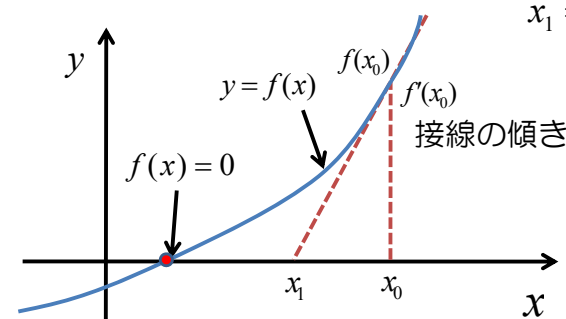
11

接線の方程式

接線の方程式 $y - f(x_0) = f'(x_0)(x - x_0)$

0点 $x = x_1, y = 0$ $0 - f(x_0) = f'(x_0)(x_1 - x_0)$

$$x_1 = x_0 - \frac{f(x_0)}{f'(x_0)}$$



12

ニュートン法のアルゴリズム

- 非線形方程式 $f(x) = 0$

- 下式で近似値を計算

$$x_{k+1} = x_k - \frac{f(x_k)}{f'(x_k)}$$

$$x_{k+1} = x_k + \Delta x_k, \quad \Delta x_k = -\frac{f(x_k)}{f'(x_k)} \quad (k = 0, 1, \dots) \quad (12)$$

- 収束条件

$|\Delta x_k| \leq \varepsilon$ が十分に小さいとき

微係数が必要

13

ニュートン法の原理

- 非線形方程式 $f(x) = 0$ (9)

- 解 α の近傍で2回連続微分可能
(2階導関数が存在して連続)

- $f(x)$ を解 α の近傍点 x_0 でテイラー展開

$$- \Delta x = \alpha - x_0$$

$$f(x_0) + f'(x_0)\Delta x + O(\Delta x^2) = f(x_0 + \Delta x) = 0 \quad (10)$$

- ここで Δx が小さいなら $O(\Delta x^2)$ を無視

$$f(x_0) + f'(x_0)\Delta x = 0 \quad (11)$$

$$f(x_0) + f'(x_0)(\alpha - x_0) = 0 \quad \therefore \alpha = x_0 - f(x_0)/f'(x_0)$$

14

演習11-2 ニュートン法(1)

- 非線形方程式 $f(x) = x^2 - a = 0$
- 方程式の解 $x = \sqrt{a}$
- ニュートン法の漸化式を整理してみる

$$x_{k+1} = x_k - \frac{f(x_k)}{f'(x_k)}$$

- 整理した漸化式で $a = 2$ として $\sqrt{2}$ を計算

15

ニュートン法で $\sqrt{2}$ の計算

- 初期値 $x_0 = 1$ として漸化式で計算

$$x_1 =$$

$$x_2 =$$

$$x_3 =$$

$$x_4 =$$

四則演算だけで平方根が計算できる
同様にN乗根もできる

16

ニュートン法の長所と短所

- 長所:
 - 収束速度が速い。2次収束する
(証明は教科書100ページ)
- 短所:
 - 関数が2回連続微分可能であること
 - 初期値が不適切だと収束しない

17

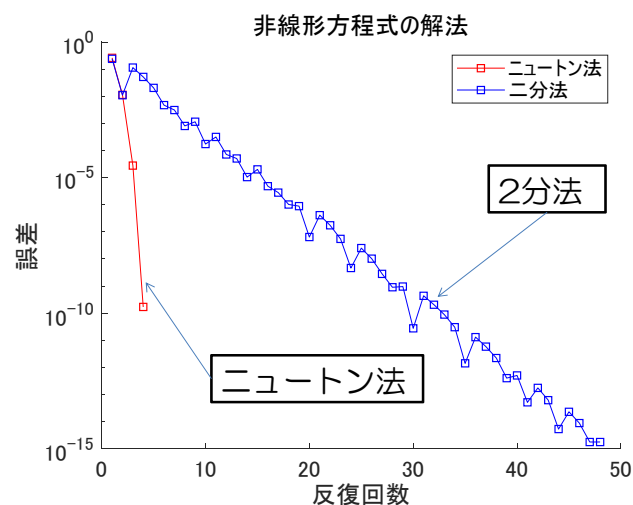
演習11-3 ニュートン法(2)

- 非線形方程式 $f(x)=0$ の $[0, 1]$ 区間の解をニュートン法(newton)を完成させて求める
- 初期値 $a=0.0$ とするが, うまく収束したら別の初期値 $a=4.0$ でも試す

$$f(x) = \cos(x) - x = 0$$

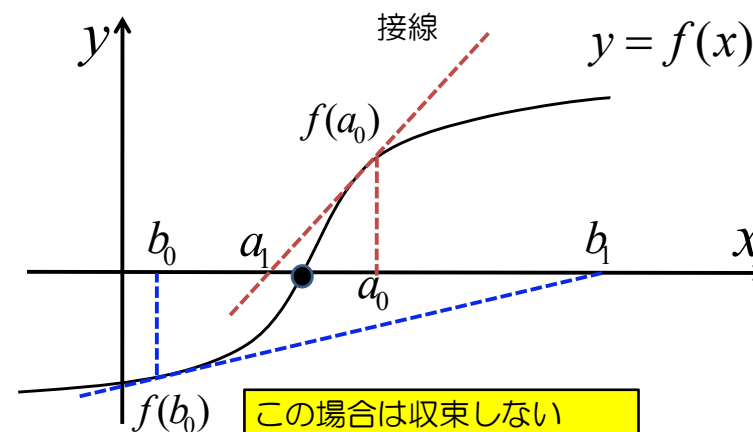
$$\frac{df}{dx} = -\sin(x) - 1$$

ニュートン法と2分法の収束



19

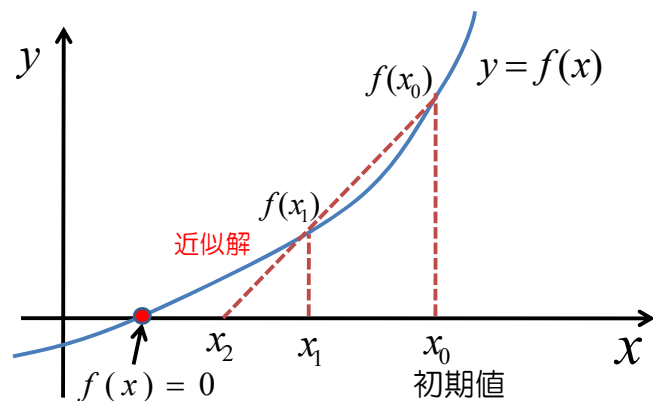
ニュートン法の制約



20

9.4 割線法 (secant)

- ニュートン法のアルゴリズムの改良版
 - 微係数不使用 2点の傾きから近似計算

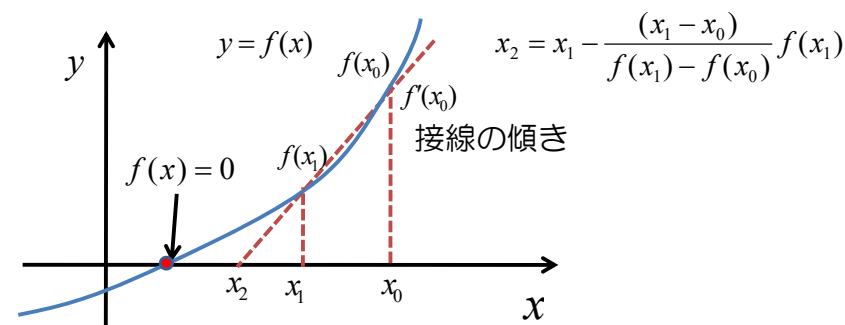


21

接線の近似方程式

接線の方程式 $y - f(x_1) = \frac{f(x_1) - f(x_0)}{x_1 - x_0}(x - x_1)$

0点 $x = x_2, y = 0$ $0 - f(x_1) = \frac{f(x_1) - f(x_0)}{x_1 - x_0}(x_2 - x_1)$



22

割線法のアルゴリズム

- 非線形方程式 $f(x) = 0$
- 下式で近似値を計算

$$x_{k+1} = x_k - \frac{(x_k - x_{k-1})}{f(x_k) - f(x_{k-1})} f(x_k) = x_k - \frac{\Delta x_{k-1}}{f(x_k) - f(x_{k-1})} f(x_k)$$

$$x_{k+1} = x_k + \Delta x_k, \quad \Delta x_k = - \frac{(x_k - x_{k-1})}{f(x_k) - f(x_{k-1})} f(x_k) \quad (k = 1, 2, \dots) \quad (16)$$

- 収束条件

$|\Delta x_k| \leq \varepsilon$ が十分に小さいとき $1/f'(x_k)$ の近似

微係数が不要

23

演習11-4 割線法(2)

- 非線形方程式 $f(x)=0$ の $[0, 1]$ 区間の解を割線法 (secant) を完成させて求める
- 初期値 $a=0.0$ とするが, うまく収束したら別の初期値 $a=4.0$ でも試す

$$f(x) = \cos(x) - x = 0$$

$$\frac{df}{dx} = -\sin(x) - 1$$

MATLABの組み込み関数fsolve

- 非線形方程式を解く組み込み関数
- n次元の非線形方程式が扱える
 - 連立非線形方程式
- 使用例は, doc fsolveを参照

MATLABの組み込み関数（一部）

行列演算： 線形方程式，逆行列，固有値

多項式： 演算，補間，方程式

関数解析： 最小化問題，微分方程式，数値積分

データ解析統計： 共分散，相関，FFT

25

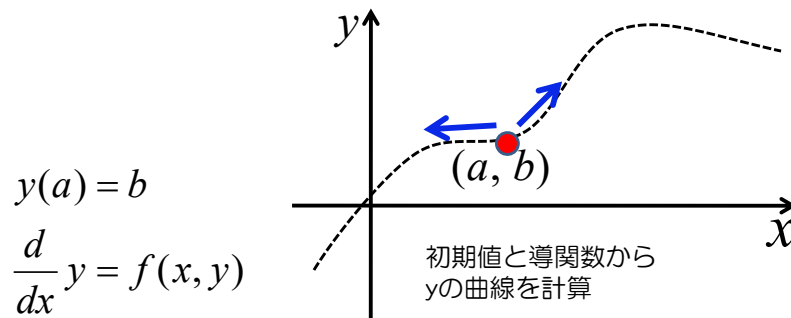
今回の講義のまとめ

- テーマ： 非線形方程式の解を求める
- 現実の方程式は，解析的には解けないことがほとんど
- 方法
 - 2分法： 収束遅いが，信頼性が高い
 - ニュートン法： 収束は早いが，適切な初期値が必要，導関数が必要
 - 割線法： ニュートン法の導関数を差分近似

26

次回の講義 常微分方程式

- テーマ： 常微分方程式を計算する
- 方法： オイラー法，ルンゲ・クッタ法



27